

取得資格 18歳以上

「準中型免許」が来春創設

「準中型自動車免許」創設などを盛り込んだ改正道路交通法が、平成29年3月12日に施行される予定だ。現行の普通・中型免許の運転免許区分を見直し創設されるもので、高校新卒者など年齢18歳以上で取得可能。改正道交法の施行は、公布(27年6月17日)後2年以内とされていたが、これまでの通例より前倒しして、高校生などの卒業時期に当たる3月に施行されることになった。これに伴い、警察庁は施行日を定める政令や施行令・施行規則(内閣府令)改正などに関して、パブリックコメント(6月11日まで)を行っている。

技能41時限・学科27時限

警察庁 パブコメ

準中型免許は、免許範囲を車両総重量3.5トンの範囲に拡大し、最大積載量2.0トン以上4.5トン未満とし、現行の普通と中型免許の間に創設されるもの。取得資格は、普通免許と同様、18歳以上で、運転経験がなくても受験できる。現行の普通免許で引き続き、総重量5トン未満まで運転可能で、「5トン限定準中型免許」となる。所定時限の教習を受けなければならない。

準中型免許を取得するための教習時間は、下表の通り。技能41時限・学科27時限の合計68時限で、現行の普通免許より8時限多くなる。

準中型免許は、普通免許を必ず18歳以上で取得可能であるため、取得後1年以内の場合、原則として「初心者マーク」の表示を義務付ける。また、取得後1年間に違反を行い、一定の基準に該当することになった場合、再試験の対象となる。なお、準中型車に関する改正道交法は、29年3月12日施行される。

改正道交法 29年3月12日施行

準中型免許の新規取得⇒技能41時限・学科27時限
[上位免許の取得]
・準中型⇒大型/技能23時限⇒大型/技能14時限

5トン限定準中型免許(現普通免許)
[上位免許の取得]
・限定解除/技能4時限・解除審査⇒大型/技能23時限⇒大型/技能14時限
・限定準中型⇒大型/技能26時限・学科1時限⇒大型/技能14時限

※各免許の取得資格は普通・準中型/18歳以上、中型/20歳以上・経験2年以上、大型/21歳以上・経験3年以上

阪神・淡路大震災 救援物資を緊急輸送

平成7年



バブル経済崩壊後の景気低迷が続く中、平成7年1月17日早朝、阪神・淡路大震災が発生した。これに伴い東ト協は同日、新たに「緊急輸送対策本部」を設置し、東京都からの要請を受けて緊急輸送を開始し、被災地に救援物資を運んだ(写真)。

以降、都および各市区町村の要請により、9次にわたって、延べトラック199台が出動し、被災地の支援に当たった。

この緊急輸送協力により、トラック輸送が非常に頼りになる、「ライン」の役割を果たしていることが、再認識された。

東ト協の緊急輸送司令部・災害救助物資備蓄倉庫が竣工したのは、この大災害の2年前、5年3月だった。

50年の歩み



東ト協では5月8日、今年3件目の会員一当死亡事故の死亡事故が発生した(トトラック事故速報)。

千代田区内の交差点で起きたもので、これにより、会員一当死亡事故は前年同期と同数になった。

今年発生した事業用貨物自動車関与の死亡事故は、累計10件で前年同期比6件少ないが、会員関与は前年同期と同数の

東ト協 今年3件目 会員一当死亡事故 交差点事故に要注意

5件(5月8日現在)。会員関与の死亡事故5件は、いずれも交差点で起きた事故。また、このうち1件を除き、犠牲者はいずれも65歳以上の高齢者だった。

このため、東ト協では改めて交差点通行時の安全確認や一時停止の励行などを、運転者に指導・徹底するよう求めるとともに、高齢の歩行者などに注意するよう呼びかけている。



改選手続き 一部改正へ

平成28年度通常総会の提出議案は、27年度事業報告・収支予算・公益目的の支出計画実施報告書案、および役員報酬規程の一部改正案、役員改選に関する規程の一部改正し、同委員会が作成した理

会長候補者が「会長代理」に 次期執行部の発足まで

冒頭、彦田昌昭会長代理があいさつし、熊本地震災害に触れ、これまで日に開催する今年度第1回理事会に提出する、通常総会議案や会長候補者の選出などに係る手続きの一部変更、創立50周年記念事業実施予算案などの各議案について、審議・承認した。

まず5月30日の第1回理事会で、初の選挙により会長候補者を選出する。ただ、その後の改選手続きは、7月8日開催の第2回理事会は、43万8千2百円と、概算予算案を3割強削減した(関連記事4面)。

通常総会議案 27年度事業報告・決算 理事・監事の選任など

平成28年度通常総会の提出議案は、27年度事業報告・収支予算・公益目的の支出計画実施報告書案、および役員報酬規程の一部改正案、役員改選に関する規程の一部改正し、同委員会が作成した理

選について。任期満了を迎えることに伴い、次期理事・監事を選任する。報告事項としては、28年度事業計画・会費の額および納入方法・収支予算と、新理事が決定する6月24日の総会終結以降の運営について(5月30日開催の理事会に提出予定議案)。

余震続く熊本地震 被災地への支援を

選について。任期満了を迎えることに伴い、次期理事・監事を選任する。報告事項としては、28年度事業計画・会費の額および納入方法・収支予算と、新理事が決定する6月24日の総会終結以降の運営について(5月30日開催の理事会に提出予定議案)。

東ト協 28年度第1回常任理事会

冒頭、彦田昌昭会長代理があいさつし、熊本地震災害に触れ、これまで日に開催する今年度第1回理事会に提出する、通常総会議案や会長候補者の選出などに係る手続きの一部変更、創立50周年記念事業実施予算案などの各議案について、審議・承認した。

まず5月30日の第1回理事会で、初の選挙により会長候補者を選出する。ただ、その後の改選手続きは、7月8日開催の第2回理事会は、43万8千2百円と、概算予算案を3割強削減した(関連記事4面)。

また、「平成28年度役員改選時における理事及び監事候補者の推薦に関する規程」の一部改正し、本部推薦理事・監事候補者の選任は、第1回理事会で選出する会長候補者が行うこととする。

これに伴い、6月6日に予定していた役員候補者審査委員会の開催を延期し、6月9日に開催予定だった第2回理事会は取り止めることにした。さらに、新理事が決定する通常総会(6月24日)以降の協会運営については、7月8日開催の第2回理事会による理事会で、次期会長が決定するまでの間、会長候補者を「会長代理」として代表権を行使することにした。

軽油の価格

1リットル当たりの軽油価格 4月分 (東ト協調べ)

☆スタンド	平均 = 88.9円
☆ローリー	平均 = 74.2円
☆元売り発行カード	平均 = 83.8円
☆ディーラー発行カード	平均 = 80.9円

全ト協・景況感調査1~3月期	3
東ト協、50周年記念事業実行委員会	4
東ト協、フェスタ実行委員会	5
優良運転者・局長表彰等の推薦を	5
東京都、「女性の活躍推進」助成	7

古紙・再生紙含有率80%再生紙を使用

地球温暖化対策 計画を閣議決定

政府は5月13日、2030(平成42)年度末までを計画期間とした「地球温暖化対策計画」を閣議決定した。中期目標としては、30年度温室効果ガス排出量を13(平成25)年度比26.0%削減とし、年度比26.0%削減とし、達成に向けて各種対策・施策を推進する。

「COP21」で採択された「温室効果ガスの約9割を占める、エネルギーを5〜7割に拡大する。起源自酸化素C1基準により、メーカーO2排出量の技術革新を促進し、燃費改善を図る。また、トラックなど事業用自動車のエコドライブを促進するため、運送事業者などを対象にエコ



然ガス車などの普及拡大を推進し、30年度までに新車販売に占める割合を5〜7割に拡大する。加えて、物流総合効率化法改正により、保管・輸送機能を連携させた拠点整備や、トラック予約受付システム導入など輸送円滑化措置を講じ、効率化を推進する方針。

「%削減を目指す。このうち運輸部門の排出量は約1億6300万ト」とし、同約28%削減に取り組む。具体的には自動車単体(ハイブリッド・クリーンディーゼル・圧縮天然ガス車)の普及促進を推進し、荷主と物流事業者の連携により、共同輸送の取り組みなどを推進し、輸送・積載率の改善を図る。具体的には、フルトラクタの規制緩和など、幹線輸送におけるトラックの大型化を進めるとともに、ETC2.0を活用した運行管理支援や、特殊車両通行許可の簡素化などを進める。

国交省

新高速料金・導入後の効果

国土交通省道路局は5月20日、4月から実施した、首都圏の新たな高速道路料金導入後の効果を公表した。それによると、都心通過交通が約1割(最大で約5割)減少し、首都高速などの渋滞が緩和された。

新料金により、外側の環状道路へ交通が転換し、都心通過が減少。特に東名高速と東北道の通過交通が約5割減少した。これにより、首都高速の交通量は約1

たパリ協定や、昨年7月に国連に提出した「日本の約束草案」を踏まえ策定したもので、長期目標としては、50(平成62)年度までに同80%削減を目指す方針。

低炭素物流の推進へ
トラック輸送を効率化

都心通過が約1割減少

国土交通省道路局は5月20日、4月から実施した、首都圏の新たな高速道路料金導入後の効果を公表した。それによると、都心通過交通が約1割(最大で約5割)減少し、首都高速などの渋滞が緩和された。

新料金により、外側の環状道路へ交通が転換し、都心通過が減少。特に東名高速と東北道の通過交通が約5割減少した。これにより、首都高速の交通量は約1

圏央道交通 約3割増加

国土交通省道路局は5月20日、4月から実施した、首都圏の新たな高速道路料金導入後の効果を公表した。それによると、都心通過交通が約1割(最大で約5割)減少し、首都高速などの渋滞が緩和された。

新料金により、外側の環状道路へ交通が転換し、都心通過が減少。特に東名高速と東北道の通過交通が約5割減少した。これにより、首都高速の交通量は約1

国交省 交通政策白書

人材確保と生産性向上「待ったなしの課題」

国土交通省は5月13日、「平成27年度の交通の動向」および「平成28年度交通施策」(交通政策白書)を公表した。交通政策基本法に基づき、同日閣議決定し、国会に報告した。

白書では、各交通事業の27年度の動向を概括した上で、今後の大きなテーマとして、人材確保と生産性向上への取り組みを取り上げた。このほか、27年度に講じた施策と、28年度の施策についてまとめている。

国交省 自動運転基準化研究所

国際標準化へ官民で設立

国土交通省は、日本の自動運転技術を国際標準化するのを狙い、5月24日、官民連携組織として「自動運転基準化研究所」を設立した。

自動運転技術の開発・実用化を促進するとともに、その国際標準化の議論を主導し、日本が持つ技術の国際標準化に向けて設立したもの。

同研究所は、自動運転に関する国際基準策定に向けた全体戦略を策定するとともに、国連自動車国際化研究センター、国交省・経産省共催の「自動走行ビジネス検討会」が、3月に取りまとめた報告を踏まえ、設立されたもの。

自動運転技術に関して、物流生産性革命の1環として、トラック輸送分野においても、高速道路における自動隊列走行の早期導入が構想されている。

国交省 熊本地震で車検証有効期間、再延長

国土交通省自動車局は、「平成28年熊本地震」の被災地における自動車検査証の有効期間について、満了日が6月14日までのものを対象に、6月15日まで再延長した。

既に熊本県全域と大分県の一部地域を対象に、5月15日まで延長していたが、今回、被災地域のうち熊本市や益城町など23市町村を対象に、さらに1か月間延長した。また、自動車保管場所証明書など、自動車登録時に必要となる書面の有効期間についても、熊本県全域を対象に9月30日まで延長した。

中小企業 セーフティネット保証4号

「平成28年熊本地震」により被害影響を受けている中小企業・小規模事業者対策として、中小企業庁はセーフティネット保証4号の対象地域について、既に指定の熊本・大分県全域に加え、5月6日に鹿児島、13日に長崎、17日に宮崎の各県全域を追加指定した。

対象地域への指定により、一般保証とは別枠の限度額で、融資額の100%保証などの資金繰り支援措置が受けられる。

安全運転にデジタルタコグラフ・ドライブレコーダー

業務支援に矢崎 ETC2.0 好評発売中

助成金の手続き、お手伝いします!!

安全

環境

省エネ



YAZAKI最新型デジタルタコグラフ
DTG-5



YAZAKI ETC2.0
ETC-YP200



YAZAKI最新型 デジタル一体式ドライブレコーダー
YAZAC-eye3T

矢崎総業特約販売店

世田谷サービス株式会社

〒157-0073 東京都世田谷区砧1-17-19
E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp

本社 03-5727-1600 (担当・清水)

板橋(営) 03-5916-3557 (担当・上野)

http://www.setagaya-yss.co.jp

運輸 点描

トラック隊列走行

経営効率の改善やドライバー不足への対応、安全性の向上などの観点から、トラックの自動隊列走行への期待が高まっている。特に長距離ドライバー不足が深刻化する中、夜間の長距離幹線輸送を隊列走行により省人化することには、トラック運送事業者の強いニーズがある。経済産業省と国土交通省では、平成32年度以降の早期の実用化に向けた道筋を描く。一方、隊列走行には、電子連結の信頼性向上など技術的な課題があるほか、隊列運行管理サービスのビジネスモデル確立など、課題も少なくない。

トラック運送業界のドライバー不足は、深刻の度を深めている。全日本トラック協会が四半期ごとに実施している「景況感調査」によると、28年4～6月期の人手不足感は、80・2と過去最高を更新する見通しとなっている。

全ト協の追加調査によると、必要な人材が確保できていない割合は、全体の68・0%に上り、業務への影響に関して、42・9%が「仕事を断ることがある」と答えている。トラック運送事業者の労働生産性(1人・1時間当たり付加価値額)は、全産業平均の半分にも満たず、低いのが実情。このため、国交省では32年度までに、2割程度引き上げを目標としており、トラック運送事業者の生産性向上を図る上で、自動隊列走行の早期実用化が期待されている。

経産・国交両省に設置された「自動走行ビジネス検討会」では、将来的に後続車両無人の3台以上の隊列走行を目指しており、32年度以降の早期に実用化するロードマップを、3月に発表した。

現段階では、ACC(Adaptive Cruise Control)による追従走行が実用化

ドライバー不足で期待大 技術とビジネス面の課題も

と呼ばれる技術が必要とされる。ACCは、センサーで前方車両との距離を把握することで、あらかじめ設定した車間距離を維持するACCに加え、通信により前方車両と加減速情報を共有することで、前方車両との車間距離をより円滑に制御することが可能。

後続車両が無人の隊列走行は、2台の隊列走行であっても、ACCによる電子連結の安全性や信頼性の向上が不可欠であり、特に重量が重いトラックは乗用車より技術レベルの難易度が高い。

トラック隊列走行のステップは、車速毎80キロ、車間距離4メートル、先頭車両は有人だが、後続車両は無人とする。両省が作成したロードマップによると、2台後続車両無人の隊列走行に続いて、29年までに要素技術とシステム全体の開発に目途をつけ、30年までにテストコースでの実証を成功させることを目指している。

もう一つの大きな課題は、隊列運行管理サービスのビジネスモデルだ。ユーザーとして想定している大手路線トラック事業者は、自社でダイヤを組んでいるため、同時刻に2台の運行車が発注されることはない。

このため、他社との「共同運行」で隊列を組み合わせ、そこに「隊列運行管理サービス」という新たなビジネスが生まれるという想定だ。

米国では、プラトーン・テクノロジが今年からACCを活用した2台後続車両有人の隊列走行の商業運行を試行するという。同社は、後続車両有人でも燃費向上などによる、コスト削減に期待している。

また、後続車両の回数を削減し、37年までの黒字化を想定しているという。

隊列走行により、真夜中の高速道路を無人のトラックが行き交う日が訪れるのは、そう遠くないのかもしれない。

伊集院 豪

全ト協 景況感調査 1～3月期

全日本トラック協会の第93回「トラック運送業界の景況感調査結果(1～3月期、速報)」によると、景況感の判断指標は▲(マイナス)30・9で前回調査(平成27年10～12月期)に比べ12・7ポイント悪化した。大規模事業者はわずかながらの



再び12.7ポイントも悪化 運賃引き下げ要請も

イナス水準に転じた。宅配以外の特別積合せ貨物では、輸送数量の指標が▲25・5で同4・9ポイント改善したが、営業収入は▲14・5で同7・4ポイント悪化。営業利益は▲5・5で同26・9ポイント悪化した。

宅配貨物の指標が▲3・0で同26・0ポイント改善し、営業収入もプラス12・1で同41・1ポイント上昇と大きく改善。営業利益も▲9・1で同10・3ポイント改善した。

運賃・料金の指標は、はやや弱まった。4～6月期見通しは、景況感の指標が▲40・7で今期比9・8ポイント悪化。さらに悪化する見込み。

一般貨物では、輸送数量の指標がやや水準を下り、営業収入・営業利益とも悪化する見込み。宅配以外の特積貨物では、輸送数量・営業収入が横ばいだが、営業利益は悪化する見込み。

運賃・料金の指標は、一般貨物がやや水準を下げ、宅配以外の特積貨物も低下する見込み。

次期見通し 景気後退懸念で悪化

全日本トラック協会は6月1日から、平成28年度「経営診断受診促進事業」の申請受付を開始する。受付期間は29年2月28日まで。予算額は310万円(予算額に達し次第、締め切る)。

会員事業者の経営診断、および経営改善相談にかかる費用の一部を助成するもの。

助成対象は、①全ト協標準経営診断システムによる「総合的な経営診断」(ステップ1)、②経営診断結果に基づき、具体的な経営改善相談(ステップ2)を行う。

6月から受付開始 「経営診断」受診促進事業

また、経営改善相談に對しては2万円、GMマーク事業所の場合には3万円を助成する。なお、相談費用は5万円(税別、診断士の交通費は別途)。

詳細は東ト協ホームページを参照。

▽申し込み・問い合わせ先 東ト協企画課(03・3359・6253)の交通費は別途。

WebKIT 4月運賃指数

求荷求車情報ネットワークWebKIT 4月としては調査開始以来の過去最高となる。4月の指数は116で、前月より1ポイント低下したが、前年同月より1ポイント高くなる。背景に、荷物情報(求車)登録件数も増えており、4月の登録件数は8万2891件で前年同月比23・2%増加した。一方、運転者不足が慢性化していることなどにより、成約率は18・3%で同2・2ポイント低下した。

数も増えており、4月の登録件数は8万2891件で前年同月比23・2%増加した。一方、運転者不足が慢性化していることなどにより、成約率は18・3%で同2・2ポイント低下した。

重点対策としては、省エネ・生産性革命投資促進事業や人材確保支援、経営改善資金融資制度(マル経融資)、事業引き継ぎ支援事業、賃上げに対する優遇措置・所得拡大促進税制などについて紹介している(中企庁ホームページを参照)。

中小企業施策 利用ガイドブック

中小企業庁はこのほど、平成28年度版「中小企業施策利用ガイドブック」を発行した。各種支援施策・制度を利用する際の取り扱いとなるもの。重点対策としては、省エネ・生産性革命投資促進事業や人材確保支援、経営改善資金融資制度(マル経融資)、事業引き継ぎ支援事業、賃上げに対する優遇措置・所得拡大促進税制などについて紹介している(中企庁ホームページを参照)。

お葬儀は事前のご相談・お見積りが安心です。

ISO9001 認証取得

— テレビモアの —

家族葬

お葬儀は事前のご相談・お見積りが安心です。

0120-57-1121

株式会社 テレビモア

NEXCO3社 高速GS空白区間 解消へ社会実験

東日本・中日本・西日本各高速道路(NEXCO各社)は、高速道路での150キロを超えるガソリンスタンド(GS)の空白区間について、平成29年度までに国土交通省と連携して、すべての空白区間の解消を目指す方針だ。

このため、まず5か所のインターチェンジ(IC)で、7月中旬を目途に路外給油サービスの社会実験を開始する。

路外給油サービスとは、指定GSで給油するため、指定ICから高速道路を一時退出した場合でも、目的地まで連続して走行した場合と同額とする料金調整を行うもの。対象はETC車(一部ICを除く)。

対象ICは、磐城自動車道・新津IC、東海北陸自動車道・福光IC、道東自動車道・十勝清水IC、および中国自動車道・吉和IC/六日市IC(既に27年4月から社会実験を実施)。

東ト協 50周年記念事業実行委員会 予算規模を3割強の大幅縮減

東京都トラック協会は5月16日、東ト協総合会館で第5回「50周年記念事業実行委員会」(委員長・彦田昌昭会長代理)を開き、記念事業の概算予算案を見直し、予算規模を3割強縮減した実施予算案(平成28年度予算案)を審議・承認した。

3月28日に開催した理事会で、実施事業や予算規模などの見直しが求められていたもので、冒頭彦田委員長は、「50年史発行について大幅な見直しを行い、その他の事業も減額・削減の方向で見直した」と説明した。

3月の理事会に提出した概算予算案は、合計6

50年史関係を中心に事業見直し



500万円だったが、50年史「発刊をはじめ各事業の見直しにより、実施予算案は2118万円削減の合計4382万円に「50年の歩み」制作は、取り止めることにした。

また、記念品として予定していた「東ト協記章」の製作・配布は、行わないことにしたほか、記念式典・祝賀会関係の経費などを見直し削減した。

一方、記念事業の一環として実施する「トラックフェスタ TOKYO 2016」(概算予算案3000万円)に対する一部助成については、概算案通り300万円を計上。

また、社会貢献事業として行う「トラックの森づくり」(31・32年にかけて50本程度植樹)予算は500万円(28年度積み立て分)、「トラックのAED搭載」(28・29年度で50台導入/東京都が半額補助予定)に対する助成予算は750万円(28年度分)とし、それぞれ概算案通り計上した。

50年史編集委員会

東ト協は5月12日、東ト協総合会館で、平成28年度第1回「50年史編集委員会」を開催し、3月28日開催の理事会で指摘された、概算予算案の見直しなどについて審議した。

当初案では、書籍「50年史」とDVD「50年の歩み」をセットで制作する予定だったが、3月の理事会で、制作の是非を含め、概算予算案の見直しが求められていた。

見直しに当たり、理事・評議員を対象にアンケート調査を実施。また制作仕様などを見直し、再見積もりを行った。

アンケート結果(回答数112人、回答率51.9%)によると、書籍「50年史」について、見直し「制作する」が92人(82.1%)、「制作しない」が17人(15.2%)だった。配布先は、全会員・支部との回答が53人と最も多かった。

DVD「50年の歩み」に関しては、「制作する」が62人(55.4%)、「制作しない」が44人(39.3%)だった。

この結果を踏まえ、「50年史」については、制作との回答が8割以上と多いことから、ページ数や構成など制作仕様を見直し、予算規模を概算案の1700万円から927万円に大幅に削減し、制作することを承認した。

DVD制作は取り止め

制作予算6割強、縮減

東ト協は、7月に実施する平成28年度の第37回ドライバー・コンテストの出場者を募集している。参加申し込みは6月10日まで。

安全運転の技能や意識の向上などを図り、交通事故防止を徹底する目的で実施しているもの。

東ト協は、7月に実施する平成28年度の第37回ドライバー・コンテストの出場者を募集している。参加申し込みは6月10日まで。

安全運転の技能や意識の向上などを図り、交通事故防止を徹底する目的で実施しているもの。

東ト協は、7月に実施する平成28年度の第37回ドライバー・コンテストの出場者を募集している。参加申し込みは6月10日まで。

安全運転の技能や意識の向上などを図り、交通事故防止を徹底する目的で実施しているもの。

東ト協は、7月に実施する平成28年度の第37回ドライバー・コンテストの出場者を募集している。参加申し込みは6月10日まで。

安全運転の技能や意識の向上などを図り、交通事故防止を徹底する目的で実施しているもの。

東ト協は、7月に実施する平成28年度の第37回ドライバー・コンテストの出場者を募集している。参加申し込みは6月10日まで。

安全運転の技能や意識の向上などを図り、交通事故防止を徹底する目的で実施しているもの。

東ト協は、7月に実施する平成28年度の第37回ドライバー・コンテストの出場者を募集している。参加申し込みは6月10日まで。

安全運転の技能や意識の向上などを図り、交通事故防止を徹底する目的で実施しているもの。

東ト協は、7月に実施する平成28年度の第37回ドライバー・コンテストの出場者を募集している。参加申し込みは6月10日まで。

安全運転の技能や意識の向上などを図り、交通事故防止を徹底する目的で実施しているもの。

交通安全功労者表彰

表彰式が5月20日、さいたま市の浦和ロイヤルパインズホテルで開催され、同氏夫人・美智子氏には感謝状が贈られた。

トラック運送業界はもとより、地域における交通安全活動に積極的に取り組む、交通安全思想の普及とともに、交通事故防止に多大な貢献をした功績などにより表彰されたもの。

表彰式が5月20日、さいたま市の浦和ロイヤルパインズホテルで開催され、同氏夫人・美智子氏には感謝状が贈られた。

トラック運送業界はもとより、地域における交通安全活動に積極的に取り組む、交通安全思想の普及とともに、交通事故防止に多大な貢献をした功績などにより表彰されたもの。

表彰式が5月20日、さいたま市の浦和ロイヤルパインズホテルで開催され、同氏夫人・美智子氏には感謝状が贈られた。

トラック運送業界はもとより、地域における交通安全活動に積極的に取り組む、交通安全思想の普及とともに、交通事故防止に多大な貢献をした功績などにより表彰されたもの。

表彰式が5月20日、さいたま市の浦和ロイヤルパインズホテルで開催され、同氏夫人・美智子氏には感謝状が贈られた。

トラック運送業界はもとより、地域における交通安全活動に積極的に取り組む、交通安全思想の普及とともに、交通事故防止に多大な貢献をした功績などにより表彰されたもの。

表彰式が5月20日、さいたま市の浦和ロイヤルパインズホテルで開催され、同氏夫人・美智子氏には感謝状が贈られた。

トラック運送業界はもとより、地域における交通安全活動に積極的に取り組む、交通安全思想の普及とともに、交通事故防止に多大な貢献をした功績などにより表彰されたもの。

28年度 Gマーク説明会 会員の申請をサポート 計6回で400人参加



東ト協(東京都貨物自動車運送適正化事業実施機関)は5月12・13日および16日、東ト協総合会館で、平成28年度貨物自動車運送事業安全性評価事業(Gマーク制度)申請説明会を開催した。各日午前・午後の計6回開催したもので、合わせて約400人が参加した。

初日(12日)午前の説明会では、西澤康雄適正化事業部長が申請方法などについて説明。「Web申請書作成システム」

東ト協(東京都貨物自動車運送適正化事業実施機関)は5月12・13日および16日、東ト協総合会館で、平成28年度貨物自動車運送事業安全性評価事業(Gマーク制度)申請説明会を開催した。各日午前・午後の計6回開催したもので、合わせて約400人が参加した。

初日(12日)午前の説明会では、西澤康雄適正化事業部長が申請方法などについて説明。「Web申請書作成システム」

東ト協(東京都貨物自動車運送適正化事業実施機関)は5月12・13日および16日、東ト協総合会館で、平成28年度貨物自動車運送事業安全性評価事業(Gマーク制度)申請説明会を開催した。各日午前・午後の計6回開催したもので、合わせて約400人が参加した。

初日(12日)午前の説明会では、西澤康雄適正化事業部長が申請方法などについて説明。「Web申請書作成システム」

東ト協(東京都貨物自動車運送適正化事業実施機関)は5月12・13日および16日、東ト協総合会館で、平成28年度貨物自動車運送事業安全性評価事業(Gマーク制度)申請説明会を開催した。各日午前・午後の計6回開催したもので、合わせて約400人が参加した。

初日(12日)午前の説明会では、西澤康雄適正化事業部長が申請方法などについて説明。「Web申請書作成システム」

日程ボード

- 5月15日
 - 9日 事務局部長会△出版・印刷・製本・取次専門部会役員会
 - 10日 取扱事業・積合専門部会役員会△関東圏における自動車事故防止対策検討会
 - 11日 東京運輸支局・街頭検査に協力▽物流経営士課程▽グリーン・エコプロジェクトセミナー▽13日▽ガバナンス小委員会▽重量品専門部会通常総会
 - 12日 Gマーク説明会(5月13日)▽50年史編集委員会△関東協青年部会常任幹事会
 - 13日 正副会長会△東京都・葛飾区・墨田区合同総合防災訓練調整会議
- 6月15日
 - 3日(金) 14時引越専門部会通常総会(主婦会館プラザエフ)▽16時▽鉄骨・橋梁専門部会通常総会(東ト協会館)▽17時▽出版・印刷・製本取次専門部会通常総会(東武ホテル)▽17時▽同懇親会(同)
 - 6日(月) 10時30分▽専門部会通常総会(東ト協会館)▽17時▽同懇親会(同)
 - 7日(火) 16時海上コンテナ専門部会通常総会(東ト協会館)▽18時▽木材専門部会通常総会(ホテルルートイン東京東陽町)
 - 8日(水) 10時引越専門部会引越基本講習(東ト協会館)
 - 10日(金) 15時引越専門部会常任幹事会(東ト協会館)▽16時30分▽同懇親会(同)▽17時45分▽同懇親会(同)
 - 13日(月) 16時▽ロジスティクス研究会通常総会(東ト協会館)▽17時30分▽同懇親会(同)
 - 14日(火) 13時30分▽女性部女性経営者物流セミナー(東ト協会館)▽15時▽取扱事業・積合専門部会通常総会(同)▽15時25分▽女性部通常総会(同)▽17時10分▽同懇親会(同)
 - 15日(水) 16時▽食糧専門部会委員(東ト協会館)

28年度 東ト協ドラコン 出場者を募集! 6月10日まで

東ト協は、7月に実施する平成28年度の第37回ドライバー・コンテストの出場者を募集している。参加申し込みは6月10日まで。

安全運転の技能や意識の向上などを図り、交通事故防止を徹底する目的で実施しているもの。

東ト協は、7月に実施する平成28年度の第37回ドライバー・コンテストの出場者を募集している。参加申し込みは6月10日まで。

安全運転の技能や意識の向上などを図り、交通事故防止を徹底する目的で実施しているもの。

東ト協は、7月に実施する平成28年度の第37回ドライバー・コンテストの出場者を募集している。参加申し込みは6月10日まで。

安全運転の技能や意識の向上などを図り、交通事故防止を徹底する目的で実施しているもの。

東ト協は、7月に実施する平成28年度の第37回ドライバー・コンテストの出場者を募集している。参加申し込みは6月10日まで。

安全運転の技能や意識の向上などを図り、交通事故防止を徹底する目的で実施しているもの。

東ト協は、7月に実施する平成28年度の第37回ドライバー・コンテストの出場者を募集している。参加申し込みは6月10日まで。

安全運転の技能や意識の向上などを図り、交通事故防止を徹底する目的で実施しているもの。

東ト協は、7月に実施する平成28年度の第37回ドライバー・コンテストの出場者を募集している。参加申し込みは6月10日まで。

安全運転の技能や意識の向上などを図り、交通事故防止を徹底する目的で実施しているもの。

原宿駅などにPR広告 ステージプログラム ほぼ固まる



東ト協 フェスタ実行委員会

を送付する。また、東日本大震災被災地の東北3県(福島・宮城・岩手各県)の「マルシェ(飲食・物販)エリアへの出展」について、東京商工会議所の協力により、4月20日に行った各県東京事務所との打ち合わせ結果について、報告した。

一方、イベント広場に引続き、フェスタ開催のPR広告について審議し、会場の「代々木公園」最寄り駅や電車内広場の掲出について検討。JR原宿駅と東京メトロ千代田線・副都心線の明治神宮前駅に掲出することを決め、電車内広告には行わないことにした。

また、野外ステージで行うイベント・プログラムについて説明。警視庁の協力による交通安全教室や音楽隊&カラオケ・ド出演をはじめ、和太鼓

や一輪車演舞、キッズダンス、「よきこい」演舞などが決定している。終日のプログラムがほぼ固まり、スケジュールがタイトな状況のため、オープニングセレモニーを予定より30分早め、午前9時30分からとするに決めた。

28年度 引越管理者講習

第1回 6月23日
第2回 7月21日

東ト協引越専門部会は、(五十嵐良夫部長)は、平成28年度第1回引越管理講習を6月23日、第2回講習を7月21日にそれぞれ開催する。

各回とも時間は午後零時45分から5時30分(予定)、会場は東ト協合会館7階大会議室。定員は各回とも100人。

受講対象は、17年度以降の全日本トラック協会統一方式による、引越基本講習修了者。なお、25年度以前の引越管理者講習修了者は、再受講(更新)する必要がある。

申し込み方法は申込書兼受講票に記入の上、FAX送信して仮予約した後、本編を郵送(全ト協発行の引越基本講習修了証のコピーを必ず添付)。

▽申し込み・問い合わせ先
東ト協引越専門部会事務局 〒160-0000 新宿区四谷3-1-8、03-3359-3401、FAX 03-3359-4983

巡回指導に係る研修会

6月21日開催

東ト協は6月21日、平成28年度巡回指導に係る研修会を開催する。午前の部(10時から)と、午後の部(1時30分から)各1回開催。会場は東ト協合会館7階大会議室。

定員は各回とも80人。参加費は無料。

安全性評価事業申請(Gマーク申請)における評価項目である「安全性に対する法令の遵守状況(巡回指導)について、適切に対応するため、新規申請および更新申請A・B方式で申請予定の事業者を対象に、研修会を開催するもの。

なお、Gマーク申請を

申し込み方法は参加申込書に記入の上、FAX送信する。詳細は東ト協ホームページを参照。

▽申し込み・問い合わせ先
東ト協適正化事業部(03-3359-4138、FAX 03-3359-6009)

ITスキル向上へ パソコンセミナー 7月に開催

東ト協は7月に、運送業のITスキルアップを目的としたパソコンセミナーを開催する。

A日程は7月12・13日、B日程は同14・15日のいずれも2日間コース(全6レッスン)で開催する。時間は各日とも午前10時から午後5時まで(1レッスンは約2時間)。1レッスンのみの受講も可能。研修内容は、1日目が

エクセルの基礎(表作成の基本、運送引受書の作成など)、2日目はエクセルの活用(仕方の売り上げ管理表の作成など)。

定員はA・B日程とも各日20人の合計40人。受講料は3千円(1レッスンのみの受講も同額)。

受講申し込みは6月24日まで(先着順で、原則1社1人を優先。定員になり次第、締め切る)。「参加申込書」に記入の上、FAX送信する。

▽申し込み・問い合わせ先
東ト協協教育研修部(03-3359-4137、FAX 03-3359-6020)

関東運輸局長 東京運輸支局長

表彰 優良運転者の推薦を

◆関東運輸局長表彰

貨物自動車運送事業などの優良運転者を表彰する、平成28年度の関東運輸局長、および東京運輸支局長表彰が行われます。各会員事業所における該当者については、次の要領により、各支部を通じて期限までに推薦書類を提出してください。

※提出書類には、自動車安全運転センターの「無事故無違反証明書」と「運転記録証明書」の両方を忘れずに添付してください。

【表彰期日】10月

【提出期限】6月30日(木)

【必着】

【提出書類】①履歴書、②運転者として満15年以上勤続している期間のうち、現事業所(統合・分割期間を含む)に引き継ぎ、5月31日(基準日)において満15年以上勤続し、責任事故がない者

【表彰対象】

①事業用貨物自動車(軽微なものを含む)がない者

②「責任事故がない」期間中に中断があるとき、その中断期間を除き、前後の期間を通算する

③「責任事故がない」とは、運転者の責に帰すべき事由により、自動車(軽微なものを含む)を運行している期間のうち、現事業所(統合・分割期間を含む)に引き継ぎ、5月31日(基準日)において満10年以上勤続し、責任事故がない者

【提出期限】7月20日(水)

【必着】

【提出書類】①履歴書、②在職証明書、③事業主の無事故無違反証明書、④責任事故無事故証明書、⑤運転記録証明書(5年間) ※⑤は6月1日以降に取得のもの

【提出部数】各2部①②③④⑤⑥正本1通、写し1通(A4判、横書き/ホチキスで綴じないこと、ワイド印刷)

【表彰期日】9月

【提出期限】7月20日(水)

【必着】

【提出書類】①履歴書、②在職証明書、③事業主の無事故無違反証明書、④責任事故無事故証明書、⑤運転記録証明書(5年間) ※⑤は6月1日以降に取得のもの

【提出部数】各2部①②③④⑤⑥正本1通、写し1通(A4判、横書き/ホチキスで綴じないこと、ワイド印刷)

【表彰対象】

①事業用貨物自動車(軽微なものを含む)がない者

②「責任事故がない」期間中に中断があるとき、その中断期間を除き、前後の期間を通算する

③「責任事故がない」とは、運転者の責に帰すべき事由により、自動車(軽微なものを含む)を運行している期間のうち、現事業所(統合・分割期間を含む)に引き継ぎ、5月31日(基準日)において満10年以上勤続し、責任事故がない者

【提出期限】7月20日(水)

【必着】

【提出書類】①履歴書、②在職証明書、③事業主の無事故無違反証明書、④責任事故無事故証明書、⑤運転記録証明書(5年間) ※⑤は6月1日以降に取得のもの

【提出部数】各2部①②③④⑤⑥正本1通、写し1通(A4判、横書き/ホチキスで綴じないこと、ワイド印刷)

【表彰対象】

①事業用貨物自動車(軽微なものを含む)がない者

②「責任事故がない」期間中に中断があるとき、その中断期間を除き、前後の期間を通算する

③「責任事故がない」とは、運転者の責に帰すべき事由により、自動車(軽微なものを含む)を運行している期間のうち、現事業所(統合・分割期間を含む)に引き継ぎ、5月31日(基準日)において満10年以上勤続し、責任事故がない者

◆東京運輸支局長表彰

故に関する申立書、⑤無事故無違反証明書、⑥運転記録証明書(5年間) ※⑥は6月1日以降に取得のもの

【提出部数】各2部①②③④⑤⑥正本1通、写し1通(A4判、横書き/ホチキスで綴じないこと、ワイド印刷)

【表彰対象】

①事業用貨物自動車(軽微なものを含む)がない者

②「責任事故がない」期間中に中断があるとき、その中断期間を除き、前後の期間を通算する

③「責任事故がない」とは、運転者の責に帰すべき事由により、自動車(軽微なものを含む)を運行している期間のうち、現事業所(統合・分割期間を含む)に引き継ぎ、5月31日(基準日)において満10年以上勤続し、責任事故がない者

【提出期限】7月20日(水)

【必着】

【提出書類】①履歴書、②在職証明書、③事業主の無事故無違反証明書、④責任事故無事故証明書、⑤運転記録証明書(5年間) ※⑤は6月1日以降に取得のもの

【提出部数】各2部①②③④⑤⑥正本1通、写し1通(A4判、横書き/ホチキスで綴じないこと、ワイド印刷)

【表彰対象】

①事業用貨物自動車(軽微なものを含む)がない者

②「責任事故がない」期間中に中断があるとき、その中断期間を除き、前後の期間を通算する

③「責任事故がない」とは、運転者の責に帰すべき事由により、自動車(軽微なものを含む)を運行している期間のうち、現事業所(統合・分割期間を含む)に引き継ぎ、5月31日(基準日)において満10年以上勤続し、責任事故がない者



重量品 専門部会

5月11日、栃木県日光市「あざやホテル」

安全確保へ特車研修やマニュアルを活用

平成28年度事業計画では、全日本トラック協会重量部会や関東・甲信越重量部会などと連携し、引き続き安全輸送の確保や事故防止に取り組む。

具体的には、特殊車両通行許可制度に関する研修会を開催するとともに、「鋼材積付け・安全輸送マニュアル」や「重

鉄鋼 専門部会

5月19日、東ト協合会館

部会長代行に三村氏

平成28年度事業計画では、まず、安全輸送の確保

量物輸送のためのドライバ「手帳」などを活用し、安全対策を推進する。また、車両総重量規制の緩和に関する検討や、特車許可の短縮化・簡素化など改善に向けた取り組みを進める方針。

なお、役員の一部変更を承認し、副部会長に土井圭二氏を新任した。

総会後、今年度の経営者研修会のテーマや、関東地方整備局との意見交換会における議事などについて、意見交換した。

経営環境の改善に向けた取り組みでは、特に輸送能力(乗務員)の確保に関する調査・検討を行い、荷主と協働して効率化対策を推進する。

さらに、部会規約と役員の一部変更を承認し、三村文雄副部会長が部会長代行に就任したほか、副部会長に新たに渡邊隆・竹之上誠直両氏が就任した。

トラック事故速報 死亡事故

問い合わせ先：東京都トラック協会 運行管理部 ☎03-3359-3618

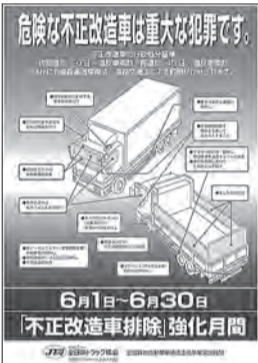
◎ 交差点右折時は、横断歩道手前で必ず一時停止し、指差し呼称を徹底すること!!

日時	5月8日(日) 11時27分頃発生(晴天)
場所	千代田区内(靖国通り<都道>)
当事者	事業用中型貨物車(70歳代前半) X 歩行者(女性91歳 死亡)
状況	千代田区九段北 一 至 市ヶ谷 一 靖国通り 一 大妻通り 一 五塚坂 一 至 神保町
概要	事業用中型貨物車が、大妻通り五塚坂方向から靖国通り神保町方向に右折進行した際、靖国通りの横断歩道を横断中の歩行者に接触したものの、

全日本トラック協会は、6月1日から30日までの1か月間を「不正改造車排除強化月間」として、各都道府県トラック協会と連携して各種取り組みを展開する。

全ト協は、年間を通じて「不正改造車排除運動」を実施しているが、特に6月を「強化月間」として、重点的に取り組む。

具体的には、①視認性、被視認性の低下を招く窓ガラスへの着色フィルムなどの貼付、②前面ガラスへの装飾板の装着、③



直前直左の周辺状況を確認するための鏡、またはカメラおよび画像表示装置の取り外し—など12項目を重点として、不正改造車の排除に取り組む方針。

このため、「危険な不正改造車は重大な犯罪です。」と呼びかけるチラシなどを作成・配布し、注意喚起することとしている。

車種別にみると、大型貨物車が57件で同12件、中型貨物車が30件で同6件それぞれ減少。普通貨物車は5件で同5件減少と半減している。これらの内数であるトレーラは14件で同3件の減少。

月別にみると、4月は22件で前年同月比5件少なく、2月以降、前年を下回る水準で推移。中型貨物車は前年同月と同じだが、大型貨物車・普通貨物車とも減少している。

不正改造車排除運動 6月は「強化月間」

全ト協 6月は「強化月間」

厚生労働省がまとめた平成27年「労働災害発生状況(確定値)」によると、陸上貨物運送事業における死亡災害、および休業4日以上の死傷災害とも減少に転じた。ただ、陸運業の第12次労働災害防止計画(25~29年度)の目標(5年で死傷10%・死亡20%以上減少)達成水準よりも多い状況にある。

陸運業における27年の労働災害発生状況は125人で、前年比7人(5.3%)減少、死傷者数は1万3885人で、同325人(2.3%)少なく、いずれも減少に転じた。また

「いっしょに安全!」キャンペーン実施中

重大災害(一度に3人以上被災)は前年と同じ12件だった。

第12次計画の開始前年の24年比では、死傷者数は0.4%増加とやや多いが、死者数は6.7%減少している。

事故の型別にみると、死亡災害の半数を占める「交通事故(道路)」が59人と減少したが、トラックの荷台などからの「墜落・転落」が17人と高止まりしており、荷崩れなどの「崩壊・倒壊」が大幅増加している。

死傷災害でも、「墜落・転落」や「動作の反動・無理な動作」など、荷役作業中の事故が高止まりしている。

全産業では死者数が972人で同85人(8.0%)減少し、統計開始以来、初めて10000人

東都協・高速安協 安全運転研修会 6月28日開催

東京都トラック協会と東京高速道路交通安全協議会は共催で6月28日、高速道路における交通安全防止をテーマに「安全運転研修会」を開催する。

午前の部(午前10時~12時)と、午後の部(午後1時30分~3時30分)の2回開催。会場は東都協

東都協・高速安協 安全運転研修会 6月28日開催

合会館7階大会議室。参加費は無料。定員は各回80人(各事業所2人まで)。

研修テーマは、①「安全運転について考える」②「一般道における交通安全防止」③「高速道路における交通安全防止」④「実際の事故事例に学ぶ」。

受講すれば、安全性優良事業所(Gマーク事業所)の申請時に加点対象

警察庁の交通事故統計(4月末累計)によると、事業用貨物自動車(第一当事者)の死亡事故件数は、92件で前年同期比23件(20.0%)減少している。

車種別にみると、大型貨物車が57件で同12件、中型貨物車が30件で同6件それぞれ減少。普通貨物車は5件で同5件減少と半減している。これらの内数であるトレーラは14件で同3件の減少。

月別にみると、4月は22件で前年同月比5件少なく、2月以降、前年を下回る水準で推移。中型貨物車は前年同月と同じだが、大型貨物車・普通貨物車とも減少している。



陸運業 死亡災害 125人に減少 死傷災害も前年を下回る

陸運業の死亡災害発生状況は、前年比7人(5.3%)減少、死傷者数は1万3885人で、同325人(2.3%)少なく、いずれも減少に転じた。また

「青だけど 車は私を見てるかな!」

東都協・高速安協 安全運転研修会 6月28日開催

合会館7階大会議室。参加費は無料。定員は各回80人(各事業所2人まで)。

研修テーマは、①「安全運転について考える」②「一般道における交通安全防止」③「高速道路における交通安全防止」④「実際の事故事例に学ぶ」。

受講すれば、安全性優良事業所(Gマーク事業所)の申請時に加点対象

警察庁の交通事故統計(4月末累計)によると、事業用貨物自動車(第一当事者)の死亡事故件数は、92件で前年同期比23件(20.0%)減少している。

車種別にみると、大型貨物車が57件で同12件、中型貨物車が30件で同6件それぞれ減少。普通貨物車は5件で同5件減少と半減している。これらの内数であるトレーラは14件で同3件の減少。

月別にみると、4月は22件で前年同月比5件少なく、2月以降、前年を下回る水準で推移。中型貨物車は前年同月と同じだが、大型貨物車・普通貨物車とも減少している。

東都協・高速安協 安全運転研修会 6月28日開催

合会館7階大会議室。参加費は無料。定員は各回80人(各事業所2人まで)。

研修テーマは、①「安全運転について考える」②「一般道における交通安全防止」③「高速道路における交通安全防止」④「実際の事故事例に学ぶ」。

受講すれば、安全性優良事業所(Gマーク事業所)の申請時に加点対象

警察庁の交通事故統計(4月末累計)によると、事業用貨物自動車(第一当事者)の死亡事故件数は、92件で前年同期比23件(20.0%)減少している。

車種別にみると、大型貨物車が57件で同12件、中型貨物車が30件で同6件それぞれ減少。普通貨物車は5件で同5件減少と半減している。これらの内数であるトレーラは14件で同3件の減少。

月別にみると、4月は22件で前年同月比5件少なく、2月以降、前年を下回る水準で推移。中型貨物車は前年同月と同じだが、大型貨物車・普通貨物車とも減少している。

警察庁の交通事故統計(4月末累計)によると、事業用貨物自動車(第一当事者)の死亡事故件数は、92件で前年同期比23件(20.0%)減少している。

車種別にみると、大型貨物車が57件で同12件、中型貨物車が30件で同6件それぞれ減少。普通貨物車は5件で同5件減少と半減している。これらの内数であるトレーラは14件で同3件の減少。

月別にみると、4月は22件で前年同月比5件少なく、2月以降、前年を下回る水準で推移。中型貨物車は前年同月と同じだが、大型貨物車・普通貨物車とも減少している。

平成28年4月末(本年累計)

	安全不確認	前方不注意	交差点安全進行	歩行者妨害	一時不停止	ハンドルブレーキ無視	信号無視	徐行違反	右左折	その他	計
大型	41	20	11	3	0	7	4	0	0	24	110
発生件数	43	20	11	3	0	7	4	0	0	39	127
(前年比)	-4	-4	+2	-4	±0	+1	+3	±0	-2	+2	-6
中型	72	77	33	3	2	13	6	0	1	53	260
発生件数	73	78	42	3	2	13	6	0	1	103	321
(前年比)	±0	-3	+8	-16	+2	-5	-4	-2	±0	-23	-43
普通	117	64	47	14	5	26	5	1	0	71	350
発生件数	119	64	60	14	5	26	5	1	0	187	481
(前年比)	-4	-2	-14	-3	+1	+9	-4	-1	-1	+5	-14
合計	230	161	91	20	7	46	15	1	1	148	720
発生件数	235	162	113	20	7	46	15	1	1	329	929
(前年比)	-8	-9	-4	-23	+3	+5	-5	-3	-3	-16	-63
死者数	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	4
大型貨物車(1当)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
中型貨物車(1当)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
普通・軽貨物車(1当)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

注：営業用貨物車の関与事故件数とは、第1または第2当事者のどちらか一方が営業用貨物車であった事故の件数をいう。ただし、第1および第2当事者がともに営業用貨物車であった事故は件数を1件とする。
※表中の(前年比)は、関与事故件数のもの。

『ご存知ですか?』

関交協の自動車共済は

損保各社の割引率を引き継ぎます

掛金制度改定で一段とご利用しやすくなりました。お気軽にお問い合わせ下さい。



●他社からお切替のご用命は **営業部** まで
 ☎ 03-5337-1753
 Fax 03-5337-1767



関交協
 関東交通共済協同組合

☎160-0023
 東京都新宿区西新宿7丁目21番20号
 ☎ 03-5337-1750 Fax.03-5337-1765
<http://www.kankokyo.or.jp/>

東京都 職場環境整備に助成 女性の活躍推進へ



東京都は、平成28年度の新規事業として「女性の活躍推進等職場環境整備助成金」を設け、「東京しごと財団」と連携して、女性の採用・職域拡大などを目的とした職場環境の整備を支援する。

これに伴い5月17日から、助成申請の受付を開始した。受付期間は29年3月31日まで(予算に達し次第、受付終了)。

具体的には、女性の採用・職域拡大を図る上で必要なトイレやロッカー、仮眠室などの整備費用に限り、500万円を限度に費用の3分

の2を助成する。また、在宅勤務など多様な勤務形態を可能にする職場環境の整備費用(モバイル端末などの整備や、介護休業などに伴う代替要員の補充経費)についても、200万円を限度に費用の2分の1を助成する。

助成期間は2年度以内で、30年3月末までに終了する取り組みが対象。申請資格は、常時雇用の労働者が2人以上で、都内に本社を置く中小企業など。

詳細は、東京しごと財団ホームページを参照

申請受付 7月15〜29日

29日まで。助成金予算は8000万円(予算枠に達し次第、受付終了)。

これに伴い、東京都トラック協会は会員事業者から申請受付を行う。

主な助成要件は軽油専用タンク(埋設型)の設置を伴う自家用燃料供給施設の新設、増設または増設を伴う代替を行う。

28年4月1日から29年2月28日まで、各市町村から、危険物取扱所の完成検査済証の交付を受けるもの。

助成対象は会員事業者四谷3の1の8、03・3359・6253)。

28年度 全ト協 自家用燃料供給施設整備助成

全日本トラック協会は、平成28年度「自家用燃料供給施設整備助成事業」の公募を行う。受付期間は7月15日から

交付申請は年度内1施設限り。過去に全ト協から同事業の助成を受けている場合、対象外。

助成額は、軽油タンクの新設(1か所分のみ)は100万円、軽油専用タンクの増設および増設を伴う代替は30万円。

申請手順・書類(様式)は後日、東ト協ホームページに掲載。

申請方法は持参、もしくは郵送。事前に問い合わせ窓口で連絡の上で、提出すること。

▽申し込み・問い合わせ先 東ト協企画課(〒160-0004 新宿区四谷3の1の8、03・3359・6253)。

平成28年度の安全性優良事業所(Gマーク事業所) 関東運輸局長表彰が行われることに伴い、東京都トラック協会は表彰基準に該当する事業所の申請を受け付け、推薦する。

東ト協 申請受付・推薦

提出期限 6月30日

事業所で、直近のGマーク認定の総合評価が90点以上、または「安全性に対する取組の積極性」の評価点数が15点以上など、表彰基準および提出書類の様式・記載例などは、東ト協ホームページ(H P)「平成28年度安全性優良事業所関東運輸局長表彰について」を参照(ダウンロード可能)。

申請方法は、HP掲載の「自己チェックシート」

3359・6009)

や「記載例」を参照の上、申請書類を作成し、郵送により提出する。

表彰式は11月22日、横浜市の関東運輸局長表彰合同庁舎で行われる。

▽申請・問い合わせ先 東ト協適正化事業部(〒160-0004 新宿区四谷3の1の8 東ト協企画課8階、03・3359・4138、FAX 03・3359・6009)

Gマーク事業所 関東運輸局長表彰

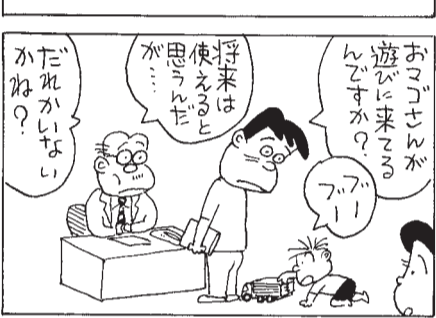
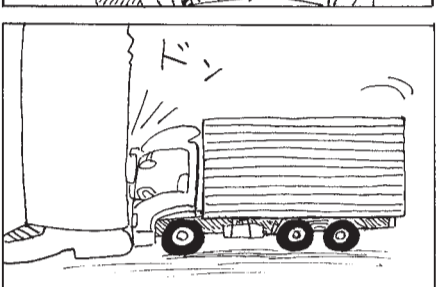
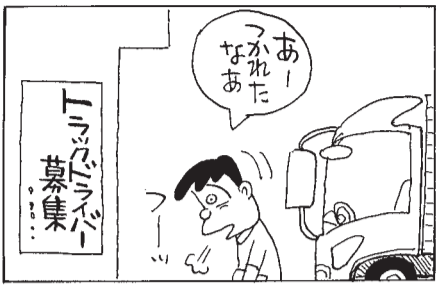
事業所認定を連続して10年以上取得し、Gマーク支局長表彰を受賞しているの「自己チェックシート」

厚労省 賃金構造基本統計調査 7月実施

厚生労働省は7月に、平成28年「賃金構造基本統計調査」を全国一斉に実施する。これに伴い、調査への協力を呼びかけている。

同調査は労働者の賃金などの実態を把握するため、統計法に基づく「基本統計」の一環として実施される。

アケセル君 No.792 芝田☆友衛



全ト協

全日本トラック協会は、事業用トラックが渋滞最後尾に追突する重大事故が相次いで起きていることから、注意喚起のポスターを作成し、安全運転の励行を呼びかけている。

今年に入り、3月と5月に山陽自動車道で、事業用トラックの追突による多重衝突の死傷事故が相次いで発生し、これを重く受け止め注意喚起している。



このため全ト協では、「トラックによる死傷事故の過半数、高速では7割強が追突事故です。」と呼びかけるポスターを作成。

運行管理者に対して、運転者の勤務・乗務時間に関する改善基準の遵守や、健康・過労状態の確実な把握を求めるとともに、運転者に対しては漫然運転の防止や、適切な車間距離の確保と制限速度の遵守徹底などを呼びかけている。

渋滞追突事故が続発 防止徹底へ注意喚起

運行管理者に対して、運転者の勤務・乗務時間に関する改善基準の遵守や、健康・過労状態の確実な把握を求めるとともに、運転者に対しては漫然運転の防止や、適切な車間距離の確保と制限速度の遵守徹底などを呼びかけている。

厚労省 賃金構造基本統計調査 7月実施

調査の対象は、主要産業に属する事業所のうち、常用労働者5人以上を雇用する民間の事業所、および常用労働者10人以上を雇用する公営事業所。

各高速道路および首都圏高速各高速道路は、3月末で終了した「ハイカ・前払」残高管理サービスの未使用残高について、申し出期間内に払い戻し手続きを行うよう呼びかけている。申し出期間は10月31日まで。

高速各社 「ハイカ・前払」残高払戻手続きを 10月末まで

未使用残高を記載した払戻請求書を順次、送付しているが、同請求書に住所・氏名を記入の上、「ETCプラザ」に郵送するよう呼びかけている。

期限までに申し出がない場合、払い戻し手続きから除外される。

▽問い合わせ先 ETCプラザ(045・477・1151、年中無休、午前9時〜午後6時)

首都圏の高速道路料金、新料金体系に移行

対距離制を基本として、料金水準や車種区分を統一するとともに、利用経路によらず、起終点間の最短距離の料金を適用する、同一発着同一料金を導入する(1日)。

●高速道路6社、車両制限令違反車両に対する、大口・多頻度割引の割引停止措置およびETCコーポレートカードの利用停止措置などについて、10月から統一して適用することを発表。これに伴い、東日本・西日本各高速道路で実施の割引停止措置などが、首都・阪神各高速道路などでも適用される(1日)。

●国土交通省、「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針(告示)」を一部改正。初任運転者に対しては、一般的な指導・監督(実車を用いた指導を含む)を15時間以上行うことに加え、新たに実車による安全運転指導を20時間以上行うことを義務付け、強化する(1日)。

●国交省、第2回「生産性革命本部」会合を開催し、新たに7つのプロジェクトを発表。この一環として、物流分野では「物流生産性革命」の推進など2つのプロジェクトを打ち出す(11日)。

●東京都トラック協会、次期会長候補者の推薦届の受付を行い、副会長の浅井隆・千原武美両氏の推薦届を受理する。3月の理事会で会長候補者を公平かつ円滑に選出するため、選出に関する規程を制定。これに基づき、理事20人以上の推薦を受けた候補者の推薦届の受付を行う。推薦候補者が複数になったことに伴い、5月30日に開催する理事会で、初の投票により、会長候補を選出する予定(11・25日)。

●平成28年熊本地震発生。これに伴い、東ト協各支部は都内各市区町村からの要請を受け、救援物資の緊急輸送を行い、被災地支援に当たる(14日)。

●全日本トラック協会、第1回「近代化基金融資制度」のあり方に関する検討会を開催する。低金利が続き運用益が減少する中で、現状のままでは制度の運用が難しくなるおそれがあるため、制度の再構築に向けて設置。融資対象や利子補給のあり方などについて再検討する方針(25日)。

●国交省、「IT点呼」実施対象の拡大などを内容とした通達改正について、パブリックコメント(意見募集)を開始(5月30日まで)。新たに「営業所と遠隔地で行う点呼」を対象に加え、一定の要件を満たす場合、安全性優良事業所(Gマーク事業所)以外でも認め

Pioneer ビークルアシスト Vehicle Assist

運行管理と運行支援のために

詳細は

ビークルアシスト パイオニア 検索

http://pioneer.jp/biz/biz_carnavi/cloud/

向 動 ファイル

◇4月分◇

トを打ち出す(11日)

●東京都トラック協会、次期会長候補者の推薦届の受付を行い、副会長の浅井隆・千原武美両氏の推薦届を受理する。3月の理事会で会長候補者を公平かつ円滑に選出するため、選出に関する規程を制定。これに基づき、理事20人以上の推薦を受けた候補者の推薦届の受付を行う。推薦候補者が複数になったことに伴い、5月30日に開催する理事会で、初の投票により、会長候補を選出する予定(11・25日)。

●平成28年熊本地震発生。これに伴い、東ト協各支部は都内各市区町村からの要請を受け、救援物資の緊急輸送を行い、被災地支援に当たる(14日)。

●全日本トラック協会、第1回「近代化基金融資制度」のあり方に関する検討会を開催する。低金利が続き運用益が減少する中で、現状のままでは制度の運用が難しくなるおそれがあるため、制度の再構築に向けて設置。融資対象や利子補給のあり方などについて再検討する方針(25日)。

●国交省、「IT点呼」実施対象の拡大などを内容とした通達改正について、パブリックコメント(意見募集)を開始(5月30日まで)。新たに「営業所と遠隔地で行う点呼」を対象に加え、一定の要件を満たす場合、安全性優良事業所(Gマーク事業所)以外でも認め



皇居東御苑・二の丸庭園の菖蒲田。見頃は5月下旬から

いずれが アヤメか カキツバタ

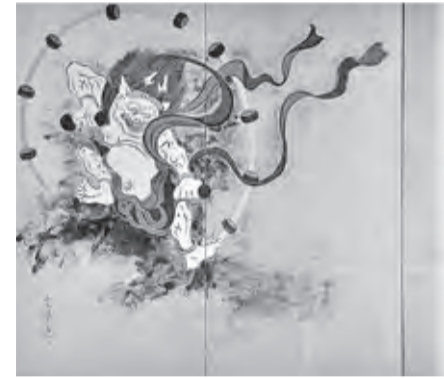
これからの季節を彩るのがアヤメやカキツバタ。菖蒲も忘れてはいけない。各地で、いろいろなお祭りが催される時期を迎える。



▲尾形光琳の風神雷神図屏風(一部)



▲依屋宗達の風神雷神図屏風(一部)



▲酒井抱一の風神雷神図屏風(一部)

見分けるには 『目』がためされている

この歌は、三河の国・八つ橋で見事に咲いていたカキツバタを織り込んで、旅の心情を吐露。聞いて流した涙で携行弁当(乾飯)をふやかした(乾パンが涙でぐじゃぐじゃになったようなもの)のだから、一行は草食系だったのだろう。

このカキツバタをモチーフにした有名屏風や工芸品などの作者が、いま人気の琳派の代表格、尾形光琳。琳派人気は高く、昨年、京都国立博物館で開催された琳派展でも、長時間待ちというほど。金銀をちりばめた漆器や皿などを、琳派模様というところか。

菖蒲にせよ、アヤメにせよ、カキツバタにせよ、古くから人気で、万葉集、枕草子にも登場している。今なら超イケメン一行が、京都から東に下る途中で詠んだ歌「からころも 着つたなれにし つましあれば はるばる来ぬる 旅をしぞ思ふ」が、古典の授業とともに甦ってくる。

坊巷話 ほうこう どうわ

ルポライター
飛鳥井 恭司

を保っていたのに、琳派は「この人」と自分で発見し、私淑し自ら学ぶ。琳派で有名な風神雷神図屏風。東京オリンピック・パラリンピックのロゴマークの、最終候補作のモチーフとなったことで記憶にあるだろうが、宗達・光琳一抱の一連の作品が、その継承を知らしめた。

だが、それぞれの間には100年あり、何のつながりもない絵師たちが時代や空間を超えての継承スタイルから、琳派は流派かという疑問も出されている。琳派を有名にした風神雷神図屏風は、今ならインターネット上で問題にもな

ポケット

文化庁の埋蔵文化財包蔵地数(古墳・横穴)の統計から、古墳の多い都道府県をみると、1位が兵庫の1万8841基、次いで鳥取の1万3459基、京都の1万3089基、千葉の1万2750基と続く。



古墳時代のロマンに思いを

県には存在しない。ちなみに東京都は、703基の全てが今なお存在し、その数は全国で31位となっている。東急大井町線の等々力駅から環状8号線沿いに歩くと、玉川野毛町公園がある。この公園内に位置する「野毛大塚古墳」は、全長82m、後円部の高さ10mの帆立貝式の前方後円墳。墳丘の周囲に馬蹄形の周濠が掘られている。3段に築造された墳丘は、全体が河原石で覆われている。各段には、円筒埴輪が巡らされている。



まちかど写真家 筑峯 総太

関東の中期古墳文化を代表する、5世紀前半に築造された古墳で、出土品からも南武蔵の有力な首長墓であることを示している。周辺には等々力溪谷3号横穴や、入ることできないが御岳山古墳などが集中している。等々力溪谷の散歩をしながら、古墳時代のロマンに思いを馳せてみてはいかがだろうか。

朝のテレビ番組で「高円寺には、高円寺というお寺がある」という歌詞のムード歌謡を聞いたことがありません。同じ曲ながら、現在その第2弾として「豊橋市には、豊橋(とよばし)という橋が



曹洞宗 諏訪山吉祥寺

ある」という歌詞の歌に変わっています。地名や駅名にお寺の名前が入っていると、実際には行ったことがなくても、「そのお寺が近くにあるのだから」と思ってしまうものです。そうした思い込みをひっくり返す場合もあります。例えば、武蔵野市吉祥寺です。そこには「吉祥寺」というお寺はありません。吉祥寺の由来は、文京区本駒込にある「吉祥寺」にあるという歌謡の歌に変わっています。

曹洞宗 諏訪山吉祥寺
住 所：文京区本駒込 3-19-17

三丁目

「少数精鋭」とは、精鋭を少数集めることで、組織の中を少数にする、誰もが自律的に反応し行動して、自ずと精鋭に育つということである」と、かつてオムロン創業者の立石一真氏が語った。これは、ある経営者の言葉を集めた書籍に書かれたものだが、人材を寄せ集めて精鋭を探し出すのではなく、今いる人材から発掘することが大切、ということだろう。◆それが経営者の手腕ともいえるが、人材の集まりにくい少子高齢化の深刻な時代に、なぜかびつたりなじむ言葉である。選り好みできるほど人材が豊富ではない時代であればこそ、なおさらであらう。◆安倍政権は、「二億総活躍社会」を実現するための政策を掲げて、その旗振りに努めているが、中小企業のすみずみまでに施策の真意が行き渡っていないように、企業がしつかりと行動し、確かな人材確保ができることが「総活躍」の基盤づくりになり、雇用の安定にもつながる。◆だからこそ、中小企業の育成にも十分な政策の手が差し伸べられる必要がある、企業は「少数精鋭」をやらなければならない。